



SHINRAN
750th

「いただきます あわせる 掌のぬくもりを」

御遠忌通信

第2号



あかり とも

発行日 2018年6月1日
責任者 宮尾 隆造
編集 御遠忌実行委員会
連絡先 長浜教務所

〒526-0059
長浜市元浜町32番4号

TEL 0749-62-0737
FAX 0749-62-0754

教区御遠忌キャラクター

「あかり」と「とも」について

第7回の「教勢調査」報告書によれば、長浜教区の「日曜学校（子ども会）」の結成率は、全国で一番高く、青少年教化活動の盛んな教区です。

教区御遠忌キャラクターは、そのような教区の特徴から、教えを相続し、次の世代を担う合掌する子ども達をイメージし作成されました。

またキャラクターの名称は教区内に広く募集を行い、応募総数339件の中から審査の結果によって選ばれました。

現在御遠忌実行委員会では「日曜学校」にて使っていただけのようなキャラクターを用いたグッズを作成いたしております。ぜひご利用ください。

(グッズは裏面を参照ください)



あかり



とも



御遠忌ロゴマークについて

3本の線は、長浜教区・五村別院・長浜別院を表し、宗祖親鸞聖人の教えが過去から現在、そして未来への絶えることなく受け継がれる「法義相続」を流れる川で表現しています。

現在 教区御遠忌の周知のため、キャラクターとロゴのピンバッチを作成中です。

キャラクターバッチを200円・ロゴバッチを400円にて販売いたします。

ご予約は教務所まで!!



地域お宝掘り起つて隊

「親鸞聖人750回忌を迎えるにあたり、寺院での日曜学校・法要・集いのお手伝いをします。」

これまでお寺にあまりご縁がなかった方々に、気楽に足を運んでいただくために、これまでのお寺のイメージを少し変えてみることも大切だと思っています。

学校での読み聞かせやサロンで、映像や動画を通して、誰でもが楽しみながら、雑談しながら、歌いながら、時にはお菓子をいただきながらやっております。

今の小学生や中学生に、愛だとか、命、魂、心、思いなど、目には見えない大切なことがうまく伝わらなくなっています。それだけに、文字や言葉だけでは難しく、動画と文字言葉を掛け合わせることが子どもたちには適しています。感動的な映画や動画を通して、子どもたちの心に深く刻まれた感動や畏敬の念は、一生忘れることがありません。子ども時代は、目に見えないものを心で感じる力を培ってくれます。子どもたちには、戦前発行され、赤い鳥から出された「杜子春」「蜘蛛の糸」「走れメロス」「赤いローソク」等や日本昔話や地域に残る昔話や伝承やお釈迦様の逸話やイソップ物語などを見てもらい、見ておしまいではなく、必ず感想やメッセージを発信することにより、いつまでも記憶の中にとどまります。

また、高齢者の方には、生きていく上で、これまで一生懸命頑張ってきたことや思い出が日常生活を支えてくれます。思い出なんか、後ろ向きのように思えますが、決してそんなことはありません。昔のことを思い出し、かすかな記憶をまさぐることは、これまで蓄積してきた脳細胞に、再び灯がともり、小さな生きる力が蘇ってきます。

編集作品「昭和の中の坂田（湖北等）」では特に戦後の出来事、流行歌、楽しかった学生時代、苦しかった農作業、地域の文化や伝統行事などをからませて、懐かしく思い出しながら、お寺の懐かしい写真や七高僧や蓮如上人のものがたり等を織り交ぜて見ていただきます。

江州音頭の名調子と映像にのって親鸞聖人のご一代記を楽しんでいただいたり、いろいろな企画が考えられます。内容や方法についてはご相談させていただきます。

もし、興味をもっていただけたら、遠慮なく、左記まで申し込んでください。

記

①日時 いつでもかまいませんが、日程調整させていただきます。アマチュアの編集作品ですので出来栄は今一つです。

②場所 スクリーンの（幅が2m20cm）がおける部屋であれば、どこでもかまいません。

③準備 特別に用意していただくものはありません。スクリーンやパソコンや音響装置やマイクやプロジェクターは当方ですべて準備いたします。スクリーン等をお持ちであれば使用させていただきます。

④申し込み先

「地域お宝掘りおこし隊」

代表 瀬戸川 恒雄

住所 米原市大鹿575
電話 090・2385・4796
FAX 0749・55・0938



1205年（33歳）

親鸞『選択本願念仏集』を書写し、源空の真影を图画。
また、夢告により「綽空」の名を「善信」と改める。

御遠忌 ―それは過去からの頂きものを未来に渡すこと―

第16組願隨寺 坊守 千田 みのり

「御遠忌」という言葉から私が思い浮かぶものは、一枚の印象深い絵です。七百回御遠忌に作られた『合掌の図』と題されたポスター（今も同朋会館で遇える）で、参詣者の最前列で祖母と男の子が合掌する姿が描かれていて、小学生の私の脳裏に残ったものです。

年を経て七百五十回忌待ち受けの頃、村のご老人が「なんまんだなんまんだ」と称えつつ歩いて行かれるのを聞き、昔近所の子らと遊んでいる傍で、いつもこの声が聞こえていたなあと懐かしく思い出しました。子ども達は知らず知らずの間にお念仏に出会っていたのです。

そのような思いの中で綴った『なんまんだぶつの子守歌』が御遠忌ソングとして、尊い有り難い縁を頂きました。子どもの頃の体験は、体のどこかで記憶され温められていると私は思います。去る五月三日教区花まつり子ども大会が「てをあわせっ」のテーマで開かれました。私が物心つく前から続くこの行事に繋がり携わった人の数はどれ程かと想像すると感動です。大会の終りに、大通寺白洲から本堂に向かい全員が合掌し恩徳讃を歌う声と姿は、長浜教区に育まれた大切な宝だと思っております。『あわせの掌のぬくもり』がそこにあると思います。一年後の御遠忌には沢山の子も達が参拝し御遠忌の風に触れてもらいたいと願っております。

そして、その子達がずっと大人になった時、どこかでこの御遠忌ソングが聞こえてきたら、♪数え切れない人たちに願われ生まれたおまえだよ（3番歌詞）♪と口ずさんでもらえたらと思います。

御遠忌法要に寄せて

第16組蓮澤寺 住職 藤元 武

私が住職を務める湯次山蓮澤寺では二〇一四年十一月に宗祖親鸞聖人の七百五十回御遠忌法要をお勤めいたしました。

この法要は「ぜひ御遠忌をお勤めしたい」というご門徒の皆さんの篤い思いから始まりました。御本山が御遠忌法要をお勤めされた次の年、二〇一二年から計画・立案をし、二年間かけて準備を進めてまいりました。それからご門徒各家庭の皆さん一人ひとりがいろいろな面で協力してくださり、法要をお勤めすることができました。

特に「松一色」で立てていただいた仏花は、松切りなどの下準備から約三週間かけ、たくさんの方の手で仕上げた大変すばらしいものでした。このお花は実際の準備は三週間ほどでしたが、その数年前からお花の先生に来ていただいて仏花の立て方を習うところから始めるという、さらに長い年月をかけてできあがったものです。これはご門徒の皆さんの御遠忌に向ける篤い思いの象徴だと思えます。

両別院の御遠忌法要がついに一年後に迫ってきました。両別院の御遠忌についても、たくさんの方が早くから準備をしていただいておりますが、まだまだこれからたくさんの方の力と思いが必要かと思えます。一人ひとりの篤い思いを集めた法要になることを期待しております。



1207年（35歳）

専修念仏停止の院宣くだる。源空とその門弟処罰される。

親鸞、越後へ遠流。源空土佐へ流罪、西意・性願・住蓮・安樂、死罪。

情宣部報告

法要期間告知横断幕を長浜別院と五村別院に設置いたしました。



御遠忌ポスターができました。各寺院に1枚ずつ配布していただいております。予備がございますので、掲示していただける方は長浜教務所までご連絡下さい。



御遠忌記念グッズ 絶賛発売中！！

御遠忌記念オリジナルブックカバーの発売を開始いたしました。『勤行本(大)』や『子どもおつとめ本 正信偈』、『あかほんくん』に使っていただけます。裏表紙にはエンボス加工でロゴマークが入っており、とてもおしゃれに仕上がりました。あらかじめのものぬりえ付で自分だけの勤行本を作成でき、日曜学校で使っていただけます。1枚200円です。ご注文承ります。



他にも大人気商品「あかりともノート」を発売しております。ご注文の際には長浜教務所までご連絡下さい。

